



経鷲会義捐金の報告

被災学生就学支援として、経鷲会から459,000円を母校に寄付

東日本大震災により就学困難に陥ってしまった学生に対する支援を経鷲会会員の皆様にお願ひしましたところ、459,000円の暖かいお気持ち寄せられました。7月22日、上原経鷲会副会長と共に、上智大学 瀧澤正学長を訪ね義援金目録をお渡ししました。会員の皆様のご厚志に対し深く感謝申し上げます。

大学財務局の萱間様によりますと、米国、ドイツをふくめ国内外から寄せられたご寄付は5620万円におよんでいるとのことです。海外イエズス会系大学(韓国西江大学や米国イエズス系大学)からは学生や教職員、イエズス会修道院がいち早く募金活動を行いご送金くださったとのことです。

なお、7月現在で、92人の被災学生が学生センターを訪れ、被災状況に応じて支援金の給付を受けているそうです。3月11日の被災以来、半年以上経ちますが、まだまだ復興への道筋がはっきりしないなか、我が上智の被災学生への支援は今後も続けていきたいと思ひますので、皆様のご支援をお願ひいたします。もちろん、従来通り、経済学部学生・研究生への研究奨励金もよろしくお願ひ申し上げます。



平成23年10月吉日 上智大学経鷲会会長
三木 眞弘



「ソフィア経済人倶楽部」の2011年度第1回講演会・懇親会の開催報告

2011年7月12日に**上野泰也氏**(みずほ証券チーフマーケットエコノミスト)をお迎えし“国家破局カウントダウン 日本を救う三つの処方箋”のテーマでソフィア会との共催で講演会を開催いたしました。上野泰也氏は上智大学文学部史学科を1985年卒業。法学部法律科に学士入学後、国家公務員I種試験に行政職トップで合格し、1986年会計検査院入庁。1988年富士銀行(現みずほ銀行)入行。為替ディーラーを経て、為替、資金、債券の各セクションにてマーケットエコノミストを歴任。2000年みずほ証券設立に伴い現職。的確な経済・市場予測で高い評価を得ており、「日経公社債情報」エコノミストランキングでは2002年から6年連続で第1位を獲得されております。講演の内容については近日中に経鷲会WEBにてご報告いたしますので、皆様是非、WEBもご確認ください。

研究奨励金への寄付の御願ひ

この研究奨励金は、経済学部の成績優秀な学生に対して行う制度で、上智大学募金室を通じ、経済学部にお支払いしております。これからこの活動を活性化させていくためにも、皆様のご寄付のご協力を宜しく御願ひ申し上げます。

また、経鷲会会費(年会費¥3,000)の納入も合わせて引き続き、どうぞ宜しく御願ひ申し上げます。尚、寄付を頂ける場合はその旨、お振込の際に、「ショウレイキン」と明記くださいませ。(奨励金は1口2,000円以上で御願ひいたします。)

振込先：郵便局 口座名：上智大学経鷲会 口座番号：00150-8-537559



Global leadership / community college



講座番号 2158 | グローバル・リーダーシップ入門 (2)

コーディネーター・講師：

上智大学経済学部教授 菊井 高昭



グローバル経済・社会環境の急激な変化は、新たなチャレンジ・可能性を提供する一方、新たなリーダーシップを必要としています。今日の低迷する先進国経済と台頭する新興勢力の間で、経済活動における地域や国家間の相互依存関係は飛躍的に増大し、そしてグローバル化は人々の想像をはるかに超えたスピードで進行しています。このような状況の中で発生した3.11東日本大震災と、それらがもたらした津波被害と原発事故さらにはサプライチェーンの中断は、まさに地球規模の経済的な被害を生み、今や日本経済の復興と原発問題の解決は、グローバルな再生テーマとなりました。この講座では春期講座に引き続き、進行するグローバル化と新たな価値観としての文化的ダイバーシティへの考察を基点とし、多様性に富んだグローバル社会と「共生」「共創」し、その発展に能動的に貢献することの出来るグローバル・リーダーに期待される要件を、各界で活躍している講師陣と共に深く掘り下げます。

今、上智で大人気のコミュニティカレッジ、「グローバルリーダーシップ入門」はソフィア経済人クラブの企画で始まりました。現在開催されている講座の講師陣は右の通りです。今回は特別にその講師でもある秋元氏にお話を伺いました。ワールドワイドのビジネスの現場で活躍してこられた秋元氏が展開する「グローバルリーダー論」、後期の講座でも紹介される内容を抜粋し、解説して頂きます。



【講師の方々】

秋元征紘	ワイ・エイ・パートナーズ(株)代表取締役
船橋 力	(株)ウィル・シード代表取締役社長
岡田仁孝	上智大学国際教養学部教授
小泉大輔	(株)オーナーズブレイン代表取締役・公認会計士
田所邦雄	英国国立ウェールズ大学経営大学院 MBA (日本語)プログラム教授
和泉法夫	上智大学ソフィア会会長
佐々木かをり	(株)イー・ウーマン代表取締役社長
田澤由利	(株)ワイズスタッフ代表取締役
山本哲郎	(株)アンダーナ代表取締役社長
三城雄児	(株)JIN-G 代表取締役社長
馬越恵美子	桜美林大学経済経営学系教授
高橋 透	(株)ニューチャーネットワークス代表取締役

また、本公開講座は10月7日よりスタートしますが、10月28日まで申込みを受け付けています。是非皆様のご参加をお待ちしております(申込み詳細はWEBページをご参照ください。http://www.sophia.ac.jp/koukai_kouza/2011autumn/kyoujitsu/kyoujitsu2158.html)。

■ グローバル化に直面している日本企業

東日本大震災から6ヶ月を超える時間が経ち、企業活動は回復の兆しを見せてきました。「五重苦」とよばれる①高い法人税、②FTA政策の遅れ、③労働規制強化、④環境規制強化、⑤円高進行に加え、全国規模になった電力不足は、多くの日本企業にとって、事業活動のグローバル化を一層避ける事の出来ない現実的なテーマにしました。

一方ではグローバル化は、個人や会社の成功の規模を飛躍的に大きくしました。スピードも速く、展開もダイナミックで、新たなチャンスを生み出し続けています。そこでは常識を超えたところこそ事業の発展、成功が生まれるわけで、従来と同じことをやり続けて成長できるほど甘い世界ではありません。これまで他の先進国での市場開拓を成功させてきた多くの日本企業が、新興国での市場開拓に苦戦を強いられています。先進国市場を開拓した際の価値観、戦略観を転換しなければ、このような市場でのグローバル競争に勝つことはできないのです。

■ グローバル社会における日本企業の成功条件

企業がグローバル競争で勝つための成功条件は、個人あるいは組織が下記の2点を備えることです。

- 1) グローバルに説得力のある基本理念を掲げて、
- 2) 明確な目標と絞り込まれた戦略を、強力に、そして迅速に展開できる能力

グローバルな事業環境の劇的な変化の中で、日本企業が持つ本来の強みを活かし勝ち残る為には、変化を先取りする精緻で絞り込まれた戦略の策定過程を内生化することによって、経営者と社員との間に「感情的な絆」を造り出し、その結果として目標の実現の為のパッションネート(情熱的)なコミットメントを確保することが不可欠と考えられます。このような経営の実践による新・日本的経営の確立こそが、日本企業がグローバル社会で勝ち残る、最も効果的かつ永続的な解決策となるのです。

■ 日本企業に求められるリーダー

かつての日本企業の国際競争力の源泉は、いわゆる日本的経営の三種の神器（終身雇用、年功序列、企業内組合）に根ざした社員のやる気と、「日本株式会社」と呼ばれた官民一体による事業展開にありました。このような環境下では同じ価値観や行動原理を持った人材が集まっていることが前提で、リーダーに求められる要素は、組織に対する忠誠心、上司・部下の關係に気を配り、組織を円滑にする力、そして部下を奮い立たせる力でありました。

しかしグローバル化が進行し、事業環境が急速に変化する昨今では、多様な価値観や行動原理を持つ人材によって構成される組織が一般的になります。そこでは、

- －共有された志を貫く精神力
- －達成意欲に裏打ちされた行動力
- －創造的な発想力
- －結束と共感を生み出すコミュニケーション力



を有する少数精鋭の幹部社員＝グローバルリーダー人材の活躍が重要です。ますます激しさを増すグローバル競争を勝ち抜く為には、組織の目標・戦略にパッション（情熱）をもってコミットできるグローバルリーダー人材の存在が鍵となるのです。

■ グローバルビジネスリーダーとは

グローバルビジネスリーダーとは、「精度の高い実務能力を備え、多様性ある環境の中で自らが率先して、様々なバックグラウンドを持つ人材から成る組織のパフォーマンスを最大限に引き出し、成果を創出できる人材」であると私たちは考えます。

グローバルビジネスで成功するためには、一定レベル以上の専門知識やスキル、現地人材と一定のコミュニケーションが図れる語学力（主に英語）が当然求められます。しかし、国内で高い成果を出しており、語学力もある人材でも、グローバル環境での成功が必ずしも約束されるとは限らないのです。グローバルビジネスでは、異なる風土、習慣を持った多様性に富む環境に対応できなければ成果を出すことはできません。グローバルビジネスで良い結果を出すためには、さらに以下の行動が求められます。

- ・日本（自分）とは異なる、多様な文化・価値観を理解／受容し、適切に対応できる。
- ・日本とは異なる社会・市場・取引方法等に適切に対応できる。
- ・多様性を持ったチームメンバーと、効率的に仕事を行える。

グローバルな組織でリーダーシップを発揮するために必要なスキルと能力は、同質の人材で構成される組織でリーダーシップを発揮する場合と異なります。グローバルビジネスリーダーは、多様性をもった環境から学び、そこからイノベーションを創発できる能力を持っていることが必要です。単に文化的な違いに適應するだけでなく、そうした違いを市場競争に活かすことができなければならないのです。

異文化の価値観・知識を深め、ダイナミックな解決策を導くことができるグローバルビジネスリーダーの基本能力は、以下の WACC4 能力に分けることができます。

[W] Will to live with vision : 目標達成に向けた強い意志

内向きではなく、グローバルな視点と文化の多様性への対応力を持ち、説得力のあるビジョンを掲げ、計画の達成に向けた強い意志を持つ。

[A] Act to win : 勇気と行動力

リアクティブでなく、プロアクティブな姿勢を持ち、これまでと異なる社会・市場・メンバーに積極的に関与し、理解を深める。また、いかなる状況でも、問題の的確な把握と戦略的な解決策を生み出し、問題を先延ばしせず、即断・即決の勇気と行動力を有している。

[C1] Create aggressively : 柔軟な発想力と問題解決力

自分と異なる考え・方法を否定せず、ポジティブに対応する。既存概念や従来からの路線や利害関係を超越して、「想定外」の事態に対しても、創造的かつ果敢に挑戦する発想力を持つ。

[C2] Communicate 360° : 効果的なコミュニケーション力

当事者意識と現場感覚に基づいた、正確かつ公正で開かれた計画や目標、業務の方法等、ルールをロジカルに伝える。困難な状況でも構成員に自信と希望を与えることで、感動と結束力を生み出すメッセージを伝えられる。

上記4つの能力は、グローバルビジネスリーダーに求められる基本能力ですが、個々の「人間力」は個々のリーダー候補によって異なります。また具体的にグローバルビジネスリーダーを育成するにあたっては、グローバルリーダーシップ講座でさらに20のKey CompetenciesをWACC4能力によって分類、どのような尺度でポテンシャルな候補を選抜し、マネジメントスキルやリーダーシップの能力をどのように高めていくかを検討していくことになります。

秋元 征紘（あきもとゆきひろ）氏 略歴

上智大学経済学部卒業、シドニー大学経済学修士課程修了。70年日本精工株式会社に入社。80年日本KFC株式会社に入社後、86年同社取締役、87年日本ペプシ・コーラ副社長、88年日本KFC株式会社常務取締役。93年株式会社ナイキ・ジャパン代表取締役社長。95年گران株式会社代表取締役社長、01年گرانS. A. (パリ本社) 執行役員、05年گران株式会社会長を歴任。現在、ジャイロ経営塾代表、ワイ・エイ・パートナーズ株式会社代表取締役、六本木男声合唱団倶楽部幹事、ソフィア経済人クラブ理事。

SophiansNet wine seminar

経驚会 SophiansNet ワインセミナー御案内

SophiansNet では以下の定例会をソフィアンズクラブで毎月、開催しております。

出身学部にかかわらず、御参加下さるよう、御願ひ申し上げます。なお、男性会費 3000 円
女性、学生は、いずれの行事も無料です。(上智大学内・ソフィアンズクラブ・TEL : 3238-3075)

今後の予定

- ・ 10月18日(火) 予定 (PM 6 : 30 ~) Club 1st. (月例会)
軽い御食事、ワイン等を御用意させて頂いております。
女性、学生無料。(イベリア半島のワイン)
- ・ 11月11日(金) 予定 (PM 6 : 30 ~) Club 1st. (月例会)
軽い御食事、ワイン等を御用意させて頂いております。
女性、学生無料。(アメリカのワイン)
- ・ 12月1日(木) 予定 (PM 6 : 30 ~) Club 1st. (月例会)
軽い御食事、ワイン等を御用意させて頂いております。
女性、学生無料。(ボジョレヌーボ予定)

(忘年会 & Christmas)

12月15日(木)

新企画

三木会長がメンバーの麻布台にある AMERICAN CLUB で開催します。

会費 : 1人 7000 ~ 8000 円程度、是非、御参加下さい。

勿論、三木会長、小國は参加です。申し込みは、aprex@aprex.co.jp迄

* Club 1st. (上記月例会について)

毎月1回、午後6 : 30 ~ 9 : 00、(Specialist & Business Club) の
会員を中心として、ラウンジ形式での懇親会を開催しています。

上記定例会等の参加申し込み方法

- ・ FAX : 3339 - 9058、E - Mail : aprex@aprex.co.jp
- ・ 小國敏雄 (Toshio Oguni 51 史、53 経営 <http://www.aprex.co.jp>) 宛、
予定日 5 日位前までにお申し込みください。なお、申し込み多数が予想されるため、
返信がないことを予め御了承下さるよう御願ひ致します (090 - 3698 - 9923)。

~主催者より一言~

白浜とワインセミナー 53年経営卒 小國敏雄

30年前に、母が買ってくれた、小さなビーチハウスが千葉の白浜にあります。三木会長、上原さん達と連休、夏休み期間中に行って、楽しく騒いでおります。

5年前から、ワインセミナーに何時も参加していただいているソフィア祭実行委員会のメンバーに1週間程度、合宿がわりにと無償で貸しています。今年も随分と楽しんだようです。

15年前からソフィアンズクラブで三木会長、秋元さん、上原さんと一緒にワインセミナーを月1回開催しております。女性、学生の方は無料で、経営的には苦しいのですが、ソフィア祭実行委員会の皆さまにも定期的なきていただき、嬉しく思っております。今年のASF 実行委員長の浜田さんも学生のときに参加していただきました。

白浜での学生の皆さんとの交流も併せて更に交流を深めていくことも重要と思っています。ワインセミナーは女性の参加者が半分以上で、なかなか華やかな会になってきまして嬉しく思っています(?)。是非、御参加下さい。





ドイツ・デュッセルドルフにて

2004年卒（経済・経営）酒井 淳史

・グローバルに活躍したい人・企業をサポートできるようになることを目標に、これまでインド・中国にてソフトウェア開発、日本で企業向けシステム導入をサポートしてきた後、現在は少しポジションを変え、ビジネス面でサポートすることはできないかと考えドイツのデュッセルドルフにて日系企業のビジネスをお手伝いする任務に従事しています。

・Dusseldorfについて

ドイツ Dusseldorf は歴史的に日系企業が数多く進出してきた土地として有名です。

ライン川沿いに位置し、現在は8000人程度の日本人（総領事館調べ、2008年10月）が居住しており、欧州域ではLondon、Parisに次ぐ邦人社会を形成しています。日本企業が多い理由は、ルール工業地帯が近いこと、欧州の他都市（London、Parisなど）への交通の便が良いからだそうです。恐らくはこの数十年の歳月の中で数多くの上智大学卒業生の諸先輩方がこの地を行き来してきたであろうことは想像に難くありません。景気の悪化により日系企業が徐々に撤退していったためかつてほどの日本人コミュニティの賑わいは無いようですが、日本食屋が軒を連ねる様相は私が20代の少くない時間をすごしたインドHyderabadと比較すると別世界です。

ドイツのブンデスリーガで活躍する日本人サッカー選手が増えています、デュッセルドルフでは日本食を食べることができたり、日本人の美容師さんがいらっしゃったりするため彼らもよく来ていると聞きます。

・ソーシャルメディアについて

過去に滞在したインド・中国という新興国と先進国であるドイツでは当然ながら大きく趣が異なりますが、最も興味深い点は現代は両者に物質的な違いが依然存在しながら、精神的にはインターネット、特にfacebookやTwitterのようなソーシャルメディアを通じてつながっているということ。

ソーシャルメディアが与えた影響は、少なくとも私にとっては計り知れません。オランダのスキポール空港で偶然知り合ったオマーン出身のイギリス人とiphoneを使ってfacebookで瞬時に友達になったということもありました。インドにいたときの友人の友人がオランダに住んでいたためfacebookでコンタクトを取り、ホームパーティーをやっていただいたところ、そこで出会ったインドネシア人男性が、日本にいるアメリカ人の友人の友人だと分かりびっくりしたこともあります（※ソーシャルネットワークのfacebookでは自分の友人とほかの友人のつながりがわかる仕様になっている）。たぶん、本当に世界の人は6人の知人でつながれるんじゃないでしょうか。

先の東北大地震発生時には東京で仕事をしていたのですが、地震発生直後電話はまったく通じず家族に連絡が取れませんでした。その代わりにソーシャルメディアを通じて海外の知り合いから安否確認のメールをたくさんもらいました。

当たり前のように日々世界中の人々とコミュニケーションをとる世界になって、改めて思うことは自分という人間を受け入れてもらうために大事なことは自分のアイデンティティー、ルーツをしっかり意識するという事。国境や考え方の壁がなくなればなくなるほど、ローカルな部分がより大事になってくると感じています。



デュッセルドルフのライン川



日本が優勝した女子W杯決勝。左筆者



卒業してからNTTコミュニケーションズのベトナムハノイ法人で働きます！

東 裕貴と申します。暑い国ベトナムから、キャリアを築いていきたいと思っています。

偶然の出会い

殆ど海外に行ったことがない自分が海外を志したきっかけは、大前研一氏と柳井正氏の共著『この国を出よ』を読んだからでした。上智にいたため留学に多少興味がありましたが、成績と勇気が足りませんでした。ただ「この状況はヤバイ！」そう感じていました。その後、戸川宏一先生の産業論特講を受け、「これだ！」と思いました。成長市場であるインドかベトナムに短期でインターンが出来るというものでした。求めていたものはズバリこれでした。不安はありましたが、決意しました。

価値観を一遍させたインドでのインターン経験

今年2月から5週間ほど、インドのバンガロールにて語学研修 & 現地 IT 企業でのインターンシップを行ってきました。インドと日本のデータセンターを比較しインドでの普及策について考えました。ただ、実務のインターンより、厳しい環境であるインドに身を置いたことの方が、得るものが大きかった気がします。株式会社スパイスアップ・ジャパン代表 豊田圭一さんにセッティングしていただきました。<http://www.spiceup.jp/>

まず、日本で報道されているインドとは印象が違いました。日本にいと、インド人は全員英語がペラペラで数学が得意、また IT に精通してよく働くという印象を受けます。実際はそうではありませんでした。英語も訛りが強いし簡単な文法を間違える人も多く、全員が数学得意というわけではなく IT IT というわけではありませんでした。

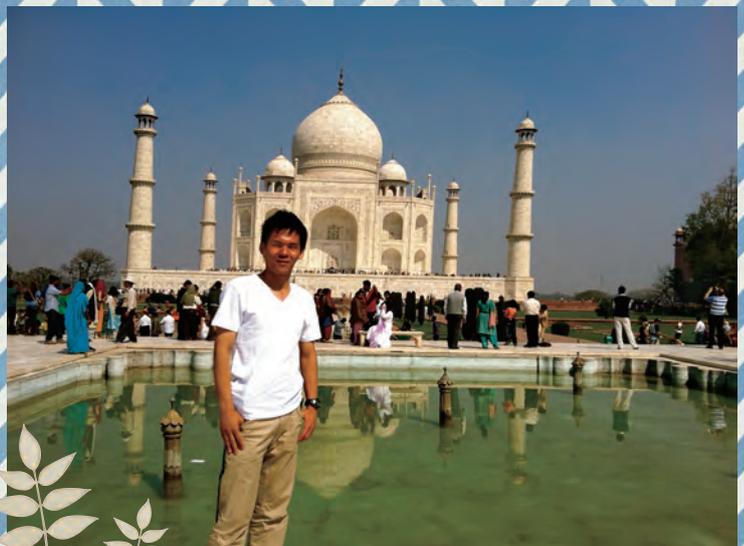
一番の驚きは猛烈に働くわけではなかったことです。道路や鉄道といったインフラも工事が途中で止まっていたりします。働くのがイヤになるみたいです。仕立屋さんに服を 800 近く注文し、受け取りに行くと「完成品はゼロ」という話も聞きました。これはイギリスに占領されボロボロに搾取された際、むりやり働かされたため労働がイヤになったことが関係していると聞きました。日本にいるエンジニアが良く働くのは、自分たちの中で分けているみたいです。

また、インド人エンジニアと接し彼らがエンジニアの仕事に満足していないこと（給料にのみ満足している人が多いみたいです。単純なアウトソーシングが多いためやりがいを感じないみたいです）やどんどん起業してしまうことにも驚きました。乞食でも全く卑屈にならず堂々と生きていたり、日本ではあり得ない身分制度であるカースト制度もあり、経済が爆発的に成長しているパワーを一身に浴びたりして、とても濃密な 5 週間を過ごさせていただきました！

2004年卒（経済・経営）酒井淳史さんからのメッセージ

東さん、はじめまして、2004年卒の酒井と申します。私も東さんの年齢の時にインドについて2年程 IT 修行をした結果思いもよらないキャリアが広がっていき仕事だけでなく人生に大きな影響を与えてくれました。

今後はベトナムで働かれるようですが、インド同様成長著しくパワーあふれた国であると思いますので是非有意義な経験をたくさん積まれることを祈っております。



タージマハルと筆者

決断！新卒海外就職挑戦。そして。

その後帰国。諸事情もあり、このまま日本で就職していいのだろうかかと悩みました。帰国当初はパワフルなインドでやってきたためか、エネルギーが有り余っているようにも感じていました。「自分がやりたいこと、どうなりたいのだろうか?」。自問自答を重ねるうちに、やっぱり海外でやりたいという原点に立ち返りました。インドにいて価値観を一遍していたことも大きかったと思います。

日本にいと、一定で街並みもあまり変わらず多様性も無く変化がないので、たびたび言われている日本の危機に対しても正直「起きないだろう?」と思うところがありました。想像が出来なかったのです。ところがインドでは歴史の教科書に出てくるようなカーストや植民地というものに直面し、「今まで壊れないと思っていたものは壊れるのが当たり前だ。起こるものは起こる。言われている危機は本当だったのだ。」と痛感しました。

男だし、自分の生きる道は自分で決めないと！そう思い、極端に言えば清水寺から飛び降りる覚悟で海外就職に挑戦しました。

当初はインドで探したのですが、新卒に対する年取制限をしておりにこれに見合うだけの実力は無いと判断しインドはあきらめました。豊田さんに相談するとベトナムを紹介してくれました。アジアで新興国で人口が多い大国になる可能性がある国が良い。条件にピッタリ合いました。そしてNTTコミュニケーションズと縁があり、働くことが決定しました。

ベトナムでの生活と今後のキャリア

ベトナムの首都ハノイで3年から5年は働こうと思っています。経済が上昇していて活力に溢れたベトナムの町を想像するとワクワクします。まずは専門であるITや通信の勉強、営業スキルのアップやベトナム人とうまくやれるように注力します。お客様はベトナムに進出してこられる日系企業様がほとんどになります。その日系企業様のCEOなど一対一で商談することになるので緊張しますが、ソフィアン魂で頑張りたいと思います！

旅行でベトナムを訪れるのと根を張って働くのとは訳が違います。旅行の時は見えなかった「イヤな」部分もたくさん経験するはず。大きな声では言えませんが袖の下も当たり前のように要求してくるでしょう（仕事が進みません）。給与が高い方へどんどん辞めていったり応募が女性ばかりで困ったり、外資への規制やインフレに苦しんだりすると思います。ただ、最初の5年というキャリアを新興国ベトナムで過ごすことが、日本では絶対得られないそして縛られないかけがえのない大きな経験になると信じています！



語学学校の前で。インド人生徒と筆者



インターン先で、インド人上司と。仕事を教えてもらっているところ



現地の道路にて遭遇したラクダ





そま莉

1999年卒 (経済・経営) 河津幸恵

『そま莉』は熊本出身のおかみが一人できりもりする小さな“呑み処”。
カウンター6席とテーブル席が8席のアットホームな空間です。
熊本から名物の馬刺しや地元の漁師さん直送の魚など、お酒にぴったりの
食材をそろえて皆様のご来店をお待ちしています。

美味しく食べて、楽しく飲んで、明日からの元気につながっていただければ
幸いです。貸切、宴会プランもごさいます。お気軽にお問い合わせください。

＜メニューの一例＞

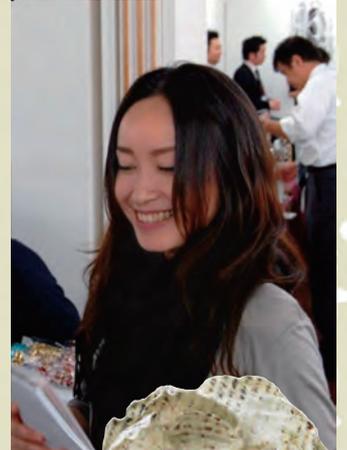
馬刺し紅白盛り 1200円
さくら肉のしゃぶしゃぶ 1900円
天草直送 特大鯖の塩焼き 980円
だし巻たまご 650円

そま莉

TEL 03-3493-2051

141-0021

東京都品川区上大崎 2-24-19 東和ビル 2F

<http://www.somalie.net/>

Bar E.A.T

2006年卒 (法律・法律) 高田健太郎



No Charge

Ease / Free Alcohol / ¥500～ Tapas / ¥300～

昼は落ち着いたLunch/Cafe、夜は賑やかなバルからオーセンティック
なバーへ♪ No Chargeで18時～朝3時まで営業中♪

フードは簡単なバル風Tapasから、がっつりローストチキンやパスタまで♪
毎月第4水曜日の「ロブスターの日」も大好評♪是非皆様の御来店をお待ちしております。

目黒駅徒歩5分
東京都目黒区下目黒 1-5-16 本田ビル2F
03-3491-5082 info@bar-eat.com
googleで[bar eat 目黒]で検索して
ください★

Facebook ページ

<http://www.facebook.com/bar.eat>

Twitter アカウント

http://twitter.com/#!/bar_eat

SOPHIA 100th ANNIVERSARY
2013

上智大学は2013年に創立100周年を迎えます。

SOPHIA, A UNIVERSITY WITH A GLOBAL MISSION

～世界に並び立つ大学へ～

<http://sophia100.jp/>